

平成30年8月13日

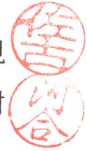
熊取町議会

議長 坂上 巳生男 殿

会派名 新守クラブ

幹事長名 佐古 員規

経理責任者 河合 弘樹



会派視察実施報告書

熊取町議会政務活動費交付要領第11条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

視 察 期 間	平成30年7月30日（月）～ 7月31日（火）	
視 察 先	① 7月30日（火） 長野県諏訪郡富士見町 ② 7月31日（水） 長野県上高井郡小布施町	
視 察 目 的	① 包括ケアシステムの構築について 「健康長寿日本一を目指して」の取組み ② テレワークタウン・ホームオフィス計画について ③ 協働と交流のまちづくり	
出 席 者 氏 名	河合 弘樹 、 佐古 員規	
旅 費 明 細	1人当たり 交通費 31,660円 宿泊料 6,888円 その他 1,800円 合 計 40,348円	旅費総額 2人分 80,696円

## 報 告 1 (長野県富士見町)

### ■ 視察項目

- ・包括ケアシステムの構築「健康長寿日本一を目指して」
- ・テレワークタウン・ホームオフィス計画について

#### 1. 包括ケアシステムの構築「健康長寿日本一を目指して」

説明：富士見町 住民福祉課課長 上原万智子様、保健師 植松真実様  
富士見町 地域包括支援センター 後町みどり様  
富士見町 社会福祉協議会 地域福祉係長 神藤竜一様

富士見町でも例にもれず人口動向で、現在14,715人が将来推計人口2040年には1万人強となるとされている。また、高齢化率も33.9%から2040には40.9%となるとされている。

これを受けて富士見町では、健康・福祉のまちづくりとして、

- ①健康寿命の延伸を推進します。
  - ②地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進します。
  - ③自立と予防を重視した高齢者福祉を推進します。
- の3つの重点施策を掲げて7年の総合計画を立てている。

#### <取組内容>

##### ①健康寿命の延伸を推進します。

- ・健康づくりの推進

→情報提供による生活習慣病予防

健康づくり計画（健康指導・栄養指導の推進）

- ・健康診断受診率向上による重症化予防
- ・健康づくり事業の推進

長野県の健康長寿要因

高齢者の就職率が高く、生きがいを持って暮らしている。

野菜の摂取量日本一

健康ボランティアによる自主的健康づくりが活発。

専門職による地域保健医療活動が活発

##### ②地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進します。

- ・地域で支える福祉の充実
- ・個人を尊重した共生生活の実現
- ・地域安心ネットワーク体制づくり

■地域支え合いマップづくり

支援を必要とする方と支援ができる人や活用できるものや関わりを見える化（可視化）実際にマップに実名を入れている。（手上げ分）  
近助、共動

■要支援者個別支援計画

「同意書」を対象として災害時避難行動支援者の個別支援計画の作成 現在同意率47.7%

③自立と予防を重視した高齢者福祉を推進します。

・高齢者福祉・自立支援の推進

・介護予防の推進

恵まれた医療・福祉関係の連携

・富士見高原医療福祉センターグループ

・富士見町社会福祉協議会

・地域包括支援センター

介護予防支援の推進 運動機能の維持・向上・認知症予防

➡おたっしや広場の開設（H29.4月～）・・・高齢者の居場所づくり

「自分らしく老後を生きる」 キーワード「ささえあい」

・運動教室・趣味活動・囲碁クラブ・脳活クラブ、サロン

※回数制限なし、思い立った時に出かけられる、予定を忘れてもOK

休みの連絡もいらない、いつでも行けば誰かいる、自分なりの利用可。

➡高齢者の居場所づくり（サロン立上げ支援）：社会福祉協議会

住民主体、歩いて行ける範囲、参加自由、身近な相談機関

出張えんがわ事業

認知症SOSネットワーク

<考 察>

長野県では世界で一番健康長寿を目指す「ACEプロジェクト」を展開中。

生活習慣病予防に効果のある「Action（体を動かす）、Check（検診を受ける）、Eat（健康に食べる）」に取り組んでいる。

特に、行政と病院、社会福祉協議会が大変協力的で、地域包括支援センターがうまく機能されていた。特に、参加者や職員の方々、ボランティアの方々がすごく生き生きと楽しそうにされていて、笑顔と活気があった。

こちらでも男性の参加率向上が課題とのことで、今では男の料理自慢教室など、男性でも力を発揮でき、楽しめる機会の創出が重要と感じた。

## 2. テレワークタウン・ホームオフィス計画について

説明：富士見町 総務課 企画統計係 専任課長 小林裕樹様、  
富士見町 総務課 企画統計係 主査 小川大輔様

### ■富士見町の課題

人口の減少傾向を抑えること及び若者の就職による流出を抑えること  
→インターネットを活用したテレワークという働き方を推奨することで  
新しい働き方のより、首都一極集中から地方への流れをつくる。

### <ホームオフィス計画>

→町内の空き家物件を町が借上げ、軽微な修繕を行い物件現地ツアーを  
企画・・・40社のツアー参加、20件のエントリーがあった

### <サテライトオフィス計画・森のオフィス計画>

→武蔵野大学と連携協定結び、空きセミナーハウスをリノベーションし、  
H27.12月より施設オープン。工事費用は内閣府の「地域再生戦略  
交付金事業」を活用。施設管理は総務省の地域おこし協力隊により対応

### <考 察>

富士見町では、積極的に町長主導のもと、インターネット環境を整備し、IT  
関連企業誘致のためテレワーク企業用サテライトオフィスとしての活用を行っ  
てきた。また、空き家を借り上げて、改修して、現地ツアーを企画するなど積極  
的に企業誘致、個人事業主誘致を実施している。更には、自然に恵まれた使用し  
ていない大学セミナーハウスを借り上げてリノベーションし、コワーキングスペ  
ースを設けるなどの工夫を加え、若い起業家たちを呼び込んでいる。

わが町熊取町にも、空き工務店の事務所を改装して、IT関連の起業家が、い  
わゆるサテライトオフィスとして活用している。ただし、本町は何の支援も行え  
ていないが、今後そのような起業家の方々、主婦、リタイアされた方の新規事業  
などの際に、オフィススペースの提供、資金的にもいかに行政が仕掛をつくって  
いくのか、どうすればかゆいところに手が届くような支援できるか、さらには、  
募集などそのPRをどのように行うかをより深く検討すべき考える。大企業の誘  
致が空き土地の関係から、本町では厳しいが、今後増えていくであろう空き家を  
しっかりと把握し、優良物件については町で借上げ、修繕を加えて、若者や起業  
家たちに安価に提供できる仕組みを構築し、働きやすく、安価で、住みやすく、  
また子育てしやすいまちづくりを提案していきたい。

## 報告 2 (長野県小布施町)

### ■ 視察項目

- ・協働と交流のまちづくりのポイント

町並修景事業、花のまちづくり、国道整備デザインなど

- ・若者の活力を生かす・若者の流れをつくる

小布施クエスト、若者会議など

説明：小布施町 企画政策課 定住交流係 益満 崇博様、

小布施町 まち歩きガイド 内山 英行様

小布施町は、東西に5.7km、南北に4.8km、総面積19.12km<sup>2</sup>と、熊取町とほぼ同じ大きさのコンパクトな町で、現在の人口は約1万人強の町である。40年前からまちづくりを積極的に行ってきた。

小布施町は、江戸幕末には葛飾北斎や小林一茶をはじめ多くの文人墨客が訪れ地域文化を開花させた。

また、果樹の栽培が盛んな農村としても、農業立町・文化立町を掲げ、交流とおもてなしをテーマに、年間120万人が訪れる歴史と文化の香る町として発展し続けている。

その主な取組について今回、①協働と交流のまちづくりの経緯をはじめ、5つのポイントについて、②若者の活力を生かし、若者の交流の流れをつくる方策などについて視察した。

### <取組内容>

#### 1. まちづくりの経緯—5つのポイント

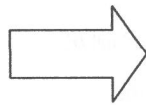
(1) 人口政策

(2) 北斎館の建設

(3) 地場産業

(4) 町並修景事業

(5) 花のまちづくり



#### 情報発信

知名度が高まり来町者が

増えることになった

(1) 人口政策

果樹を中心として農業立町・文化遺産を活かした文化立町

昭和45年頃からまちづくり開始

※何かエポックメイキングな情報発信できることをしなければ・・・

※将来人口推計を目標11000人。

(2) 北斎館などの美術館

昭和51年、小布施に残された北斎の肉筆画を一堂に集めた「北斎館」を開館。当時は“田んぼの中の美術館”と言われていた。

<4つの目的>

- ①肉筆画の収蔵、②町宝である祭屋台の保管、③研究（世に伝える）
- ④集客

(3) 地場産業・栗菓子店の活躍

集客の効果で多くのお客様を迎えて、栗菓子店の老舗は小売・飲食サービスを始めた。

(4) 町並修景事業 ～事業の特色

- ①マスタープランのないこと（都市計画ではない）
- ②関係者の納得のガ得られるよう十分に時間をかける
- ③そこのある要素（建物・機能）を外に出さない、ゾーニングしない＝田舎
- ④補助金を受けない（ひも付きにならないように）
- ⑤官民、民民の境界を見えるようにしない
- ⑥田舎暮らしを大切にすること（人の庭を通り抜ける等）
- ⑦生活の移住空間の快適性を上げる
- ⑧乗りにくいステークホルダーにやさしくする
- ⑨生活の中からでるものを隠さない（例えばごみなど）

“外はみんなのもの、内は自分たちのもの”

- ・ 景観に対する町民意識の向上
- ・ S61環境デザイン協力基準を制定
- ・ H元年住まいづくり相談所開設
- ・ H2 うるおいのある美しいまちづくり条例を制定
- ・ H4 住まいづくり・広告設置物マニュアルの発行、
- ・ H4 景観賞の制定

(5) 花のまちづくり

町並景観事業で「景観」を意識した町民が、「花」によるまちづくりを展開。さらに、「フローラルガーデン」開園、「花仲間コンベンション・全国ガーデニングサミット」の開催

丹精込めた各家庭の庭を開放する「オープニングガーデン」を展開。  
18年目を迎え123軒に拡大中。

## 2. 第2ステージへ

### (1) 自立(自律)

①財政の健全化、②行政改革、③協働、④交流

※にぎわいの創出 ≠ 観光

### (2) 協働と交流のまちづくり

①町民との協働

②大学・研究機関との協働

東京理科大、慶応義塾大、東京大、法政大

※東京理科大、役場庁舎内に研究室設置

※慶応大システムデザインマネジメント研究科との協働

→この大学出身の若者女性2人がのちの若者会議を手掛けた

ハピキラファクトリー ガイヤの夜明けTV出演

③地場企業との協働～もう一つのブランドとして

プラムリー、チェリーキッス

④町外(優良で志の高い)企業との連携

・伊那食品：第2町並修景事業、農産物の加工

・新宿高野：プラムリーのブランド化

・JR九州：アンテナショップ開業

・小布施クエスト：若者文化とスポーツ振興 etc

※多彩な交流で地域の活性化

・小布施見にマラソン(8000人)

・町民運動会(小布施に関わった若者や企業の方々も参加)

小布施町の関係するすべての方が参加でき楽しんでいる。

### (3) 中心部のさらなる整備

・国道403号整備デザイン：車から人へ 景観重視に変更させた

・森の駐車場：国道沿いに本物の森を再現

(4) 北斎館周辺から農村へ

- ・農村イベントの交流
- ・農家民泊、オープンガーデン、農村レストラン等の拠点整備
- ・若者のニュースポーツによる振興
- ・コミュニティの研究（大学・行政・住民による協働）

**3. 第3ステージへ～若者の流れをつくる**

現状の課題

まちづくり、人口減少、少子高齢化、農業の後継者不足

戦略 ①後継者→制度を活かして

②販路 →交流事業化、ブランド化

③設備 →見直し、集約

戦術 ①若者会議 →取組を生み出すきっかけの場

②都市農村交流事業→高度なソフトインフラ

③UIターン促進 →住み良い町の実現

※小布施若者会議の開催

※HLAB OBUSE サマースクールの開催

6泊7日の高校生向けサマースクール：大学生・社会人と真剣に向き合う  
対話の場

※小布施クエストなどによる若者のスポーツ振興

・スラックライン、スキー・スノボージャンプ、ボルダリング

<考 察>

小布施町は、約40年前から、その町の特色を把握した取組を行ってきており、それが現在実を結んだ形となっている。私が中でも関心があったのは、まずその町の歴史と文化に触れ、ゆかりのある葛飾北斎の肉筆集を集めた「北斎館」を田んぼの真ん中に建設したことだ。当時の町長はよく決断したなと思う。また、東京に近いこともあり、東京の主要な大学と連携し、様々な協働事業や研究を行っている。わが町にも、中家住宅、京都大学複合原子力科学研究所、煉瓦館、ひまわりドームなど他市町の誇れる施設等がある。また4つの大学も立地しており、



関西空港にも近いことなどからも絶好の条件が揃っている。熊取町も是非これらの財産をうまく活用し発展できればと思う。ブランド品の開発から販路拡大まで、大学や、企業と連携して取り組むなど見習う点も多い。

中でも、町並修景事業や花のまちづくりなども思い切った施策だと思う。片側2車線の国道建設計画を、車から人へと景観重視の計画に変更したり、国道沿いに森の駐車場（本物の森）を子どもたちと一緒に製作するなど斬新でした。

花のまちづくりでは自分の庭を他人に見てもらったり通行してもらったりと町民の景観に対する意識向上なども大変参考になった。

さらに、若者のアイデアと活力を活かした取組として、若者会議を開催して、将来のことを真剣に話し合う機会を創設したり、若者によるニュースポーツを企画実践するなどスポーツ振興にも力を入れ、若者の流れをつくる取組が充実していた。

若者会議では、町外の若者の参加に町の予算を使うことによる賛否など課題も多いが、将来を担う若者の意見を取り入れる機会は大変重要である。

是非、熊取町役場も、若い職員の意見やアイデアを吸い上げ、町の若手経営者や、青年団、ひいては、小、中学、高校生の意見が反映できる仕組みを構築できればと考える。他市町にない先進的な取組について、議員から積極的にどんどん提案していきたいと思う。

報 告
長野県富士見町
1. 包括ケアシステムの構築 『健康長寿日本一を目指して』
富士見町は人口1万4715人で、高齢化率は33.9%で2025年には37.2%になることが見込まれている。
2012年から地域包括支援センターを軸に「地域包括ケアシステム構築」の事業に取り組んでいる。
地域の課題として少子高齢化による独居高齢者が、733人・高齢者のみ世帯が316世帯あり、日常生活や病気・介護に不安を感じている人が多い。
・高齢者の居場所づくりでは、高齢者クラブの加入者が3120人いたが、1594人まで半減した。高齢者クラブがなくなった地区には、 <u>新たな居場所</u> づくりについて検討し、講演会やレクリエーション・体操教室・お茶会などの企画を行い、交流の場として取り組んでいる
・高齢者の交通機関としてデマンドがバスが走っていますが、利用者の要望がありバスに替わる新たな交通手段としてボランティアによる送迎が必要だと考え、利用者信頼関係が保てる地域ボランティアの育成を行っている。
熊取町の2015年の高齢化率は25.8%で、2045年までに39%に達し、おおよそ10人に4人が高齢者になると見込まれていますが、高齢者の居場所づくりや高齢者の孤独死防止などについては官・民・業・福の情報共有と協力体制の充実、高齢者の居場所・交流の場の提供することの大切さを痛感致しました。
2. テレワークタウン・ホームオフィス計画
空き家を利用し、住居兼オフィスとして長期利用して頂くプロジェクトで、熊取町でも実施しているところもあり、今後空き家の活用として注目されている。

## 6. 報告書

報告
長野県小布施町
1. 協働と交流のまちづくり
小布施町は人口約11,000人で、面積は約19km <sup>2</sup> で、長野県では1番コンパクトな町であり、熊取町とほぼ同じ面積である。
古くから栗の産地として名を馳せ、りんご、ぶどう、もも等の果樹の栽培が盛んな町で、北斎館、高井鴻山記念館を中心に住民と行政が一体となって取り組んだ歴史と文化を生かしたまちづくり、景観や花のまちづくりは全国的に注目を集め、年間100万を超える人が訪れている。
<u>町並修景事業</u> 2年間で約100回会議を重ねてコストをかけずに、自然で落ち着いた町並みを作り出したようだ。
外はみんなのもの という考え方が自然に出来上がっていったようだ。
<u>オープンガーデン</u> 花のまちづくりで、訪れた人々を花でもてなし、花づくりを町全体で取り組み、今では123軒がガーデン公開している。
熊取町も駅西整備事業で熊取町の玄関口として、魅力的な景観にシェンバウンドに活かしていただきたいと思います。
2. 若者の活用を生かす・若者の流れをつくる
町外から若手を招いて、若者会議を開き町の若者に刺激を与えて、まちづくりインターンシップ事業を実施し、 <u>観光から交流へ</u> を合言葉に町のファンになってもらう交流人口の増加を目指している。
熊取町もこれからの将来を担う人材である、若者の意見等積極的に取り組む会議を開催し、活力があり魅力あふれる熊取町に！

# 新政クラブ・新守クラブ合同視察

平成30年7月30日～7月31日

## 1. 長野県小布施町視察内容

テーマ：協働と交流のまちづくり

- ① 協働のまちづくりのポイント
  - ・町並修景事業、花のまちづくり、国道整備デザインなど
- ② 若者の流れをつくる
  - ・小布施クエスト、若者会議など
- ③ 農村部の活性化
  - ・新スポーツの企業嘉化、遊休空間の活用、

## 2. 長野県富士見町視察内容

テーマ：(1) 包括ケアシステムの構築「健康長寿日本一を目指して」

- ・高齢者の足となる「デマンドバス」の採算性について
- ・

(2) テレワークタウン・ホームオフィス計画について

- ・空き家の情報収集方法及び活用について
- ・募集のPR方法について
- ・森のオフィスの多陳光熱費補助での採算について

# 新政クラブ・新守クラブ合同視察研修

H30年度 長野県 富士見町・小布施町行政視察

<1日目>

日時	時刻	内容	備考
7月30日(月)	6:39 発	JR日根野駅 発	} ¥13,560
	↓	↓ 【はるか2号】	
	7:38 着	JR新大阪駅 着	
	7:50 発	JR新大阪駅 発	
	↓	↓ 【のぞみ110号】	
	8:40 着	JR名古屋駅 着	
	9:00 発	JR名古屋駅 発	
	↓	↓ 【ワイドビューしなの5号】	
	10:53 着	JR塩尻駅 着	
	11:05 発	JR塩尻駅 発	
	↓	↓ 【JR中央本線 高尾行】	
	11:57 着	JR富士見駅 着	
		↓ 昼食等	
13:45	富士見町役場 着		
		↓	
	<b>14:00</b>	<b>富士見町役場 行政視察</b> ・包括ケアシステムの構築 「健康長寿日本一を目指して」 ・テレワークタウン・ホームオフィス計画	
	<b>16:00</b>	<b>富士見町役場 発</b>	
	16:31 発	JR富士見駅 発	} ¥2,450
	↓	↓ 【JR中央本線 長野行】	
	18:53 着	JR長野駅 着	
	19:00	ホテルチェックイン	ホテルサンルート長野東口 TEL: 026-264-7700 ¥6,888
		夕食、自由時間	
		※手土産代 (富士見・小布施)	¥1,050

<2日目>

# 新政クラブ・新守クラブ合同視察研修

H30年度 長野県 富士見町・小布施町行政視察

日時	時刻	内容	備考
7月31日(火)	8:30	ホテルチェックアウト	¥770
	8:51発	長野駅 発	
	↓	↓【長野電鉄スノーモンキー湯田中行】	
	9:15着	小布施駅 着	
	9:40	小布施町役場 着	
	<b>10:00</b>	<b>小布施町役場 行政視察</b> ・協働と交流のまちづくり ・若者会議	
	<b>12:00</b>	<b>小布施町役場 発</b>	¥750
		(街歩きガイド) ↓ 昼食	
	13:47発	小布施駅 発	¥670
		↓【長野電鉄・長野行】	
14:21着	長野着	¥14,210	
15:00発	JR長野発		
	↓【しなの18号】		
18:05着	JR名古屋 着		
18:23発	JR名古屋 発		
	↓【のぞみ241号】		
19:13着	JR新大阪 着		
19:30発	JR新大阪 着		
	↓【はるか53号】		
20:16着	日根野 着		
		【解散】	
		旅費・宿泊費・その他	¥40,348

旅費交通費のみ

¥31,660

新政クラブ・新守クラブ 長野県富士見町・小布施町行政視察 旅費交通費

日時	交通費・諸経費・その他	1人分	新政クラブ	新守クラブ	4人分
7月19日	①交通費 (JR日根野—JR富士見)	¥13,560	¥27,120	¥27,120	① ¥54,240
7月30日	②交通費 (JR富士見—JR長野) (乗車券¥1,940、特急券¥510)	¥2,450	② ¥4,900	② ¥4,900	¥9,800
7月30日	③手土産代 2100円×2	¥1,050	¥2,100	¥2,100	③ ¥4,200
7月30日	④宿泊代 (サンルート長野東口)	④ ¥6,888	¥13,776	¥13,776	¥27,552
7月31日	⑤交通費 (長電長野—長電小布施)	¥770	¥1,540	¥1,540	⑤ ¥3,080
7月31日	⑥街歩きガイド	¥750	¥1,500	¥1,500	⑥ ¥3,000
7月31日	⑦交通費 (長電小布施—長電長野)	¥670	⑦ ¥1,340	⑦ ¥1,340	¥2,680
7月19日	⑧交通費 (JR長野—JR日根野)	¥14,210	¥28,420	¥28,420	⑧ ¥56,840
		¥40,348	¥80,696	¥80,696	¥161,392

①交通費(JR日根野 - JR富士見)

@ ¥13,560 x 4名.

e5489領収書

HYZ8223F1807192238511

表示日: 2018年8月1日

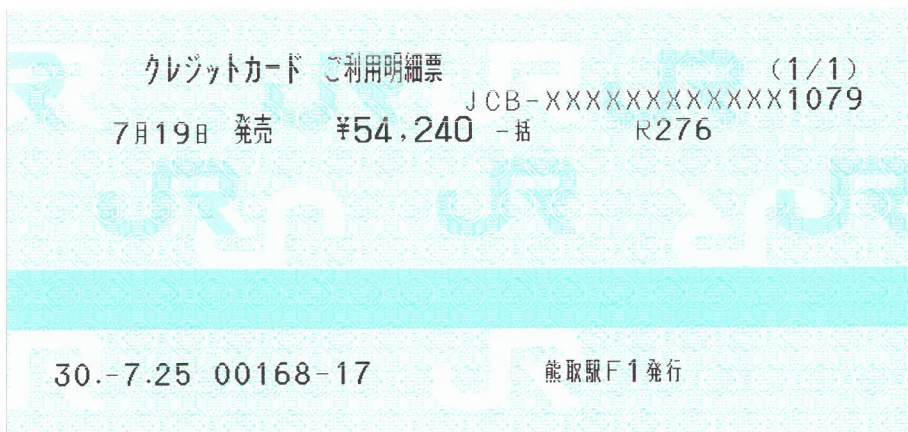
宛名	新政クラブ・新守クラブ 様
利用金額計	¥54,240- (税込)
お支払方法	クレジットカード扱い (カード番号 下4桁 1079)
但し	JR乗車券類
予約番号	45851
購入日	2018年7月19日

きっぷの明細

乗車日	ご利用人数	ご利用区間	
		乗車券	区間
2018年7月30日	おとな4人	乗車券	日根野 - 富士見 (片道乗車券)
		特急券	列車: 特急はるか2号 区間: 日根野 - 新大阪
			列車: 新幹線のぞみ110号 区間: 新大阪 - 名古屋
		列車: 特急(ワイドビュー)しなの5号 区間: 名古屋 - 塩尻	

JR 西日本旅客鉄道株式会社

本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。





② 交通費

JR富士見 ——— JR長野

領 収 証

新守クラブ 様

2018年 7月30日

金4,900円

ただし、乗車券類代  
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納  
付 に つ き 渋 谷  
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

JR富士見 — 松本 — JR長野

東日本旅客鉄道株式会社  
富士見401 No.000004



乗車券1940円、特急料金510円(回数券) × 2名

⑦ 交通費 (長電小布施 — 長電長野)

領収書

ご利用日付 2018年-7月31日  
時刻 09時41分  
券番号: 1019  
取引内容: 乗車券類 金1340円

伝票番号: 1020

●ご利用ありがとうございます。  
小布施駅 券01発行  
長野電鉄株式会社

③ 手土産代 ¥2,100 × 2  
富現町、小布施町

⑤ 交通費 (長電長野 - 長電小布施)  
② ¥770 × 4人

**Entrée Marché**  
アントレマルシェ  
**+ 7-Eleven**  
アントレマルシェエキマル新大阪店  
大阪府大阪市淀川区西中島5-16-1

電話: 06-6309-5963 レジ#4

2018年07月30日(月) 07:44 責233

**領 収 書**

様

¥ 4,200-

(内消費税等 ¥311)

但し  
上記正に領収いたしました

2018年07月30日

本票を保管頂く場合は、印刷面を  
内側に折り、保管をお願い致します

**領 収 書** 様

領収年月日 2018.-7.31

金額 ¥ 3,080-

上記金額確かに領収いたしました。

購入内容 乗車券類購入

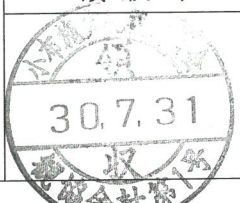
原券番号 71-08043

長野電鉄株式会社

長野駅 71-05188

印紙税申告納付につき長野  
税務署承認済

街歩きガイド代  
⑥ (小布施町) 1名

納入通知書兼領収書	
平成 30 年度小布施文化観光協会	
納入金額	3000 円
納入金の内容	まち歩きガイド
納入者	大阪府 泉南郡 熊取町議会 様
上記金額を小布施文化観光協会へ納入してください。	
平成 年 月 日 小布施文化観光協会 会長 大窪 経之	
上記金額を正に領収しました。	領収印
平成 30 年 7 月 31 日	
小布施文化観光協会 会計 平松 幸明	

④ 宿泊代 (サンルート長野東口)

領 収 書  
RECEIPT

ホテルサンルート長野東口  
HOTEL SUNROUTE NAGANO-HIGASHIGUCHI  
TEL 026-264-7700 FAX 026-264-6611  
<https://www.sunroutenaganohighigashiguchi.jp/>  
株式会社相鉄ホテルマネジメント

お部屋番号 ROOM No. 1803  
お名前 NAME  
Mr. Ms. 新守クラブ 様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2018/07/30	2018/07/31	1	2018/07/31	

日付 DATE	お部屋 ROOM	摘 要 DESCRIPTION	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	残 高 BALANCE
07/30	1803	御宿泊代	6,888x 1		
	1803	前受金		6,888	

総合計 TOTAL	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
	6,888	6,888	0	0

なお、お勘定には消費税が加算されております。  
Tax are added to your bill.

ご署名  
SIGNATURE

ご住所  
ADDRESS

会社名  
COMPANY

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for patronage. We look forward to serving you again.



0 045794601 tak  
711 000000000

印紙税申告納  
付につき横浜中  
税務署承認済

# ⑧ 交通費 (JR長野 - JR日根野)

① ¥14,210 × 4名

e5489領収書

HYZ9089F1807192308231

表示日：2018年8月1日

宛名	新政クラブ・新守クラブ 様
利用金額計	¥56,840- (税込)
お支払方法	クレジットカード扱い (カード番号 下4桁 1079)
但し	JR乗車券類
予約番号	40223
購入日	2018年7月19日

## きっぷの明細

乗車日	ご利用人数	ご利用区間	
2018年7月31日	おとな4人	乗車券	長野 - 日根野 (片道乗車券)
		特急券	列車：特急 (ワイドビュー) しなの18号 区間：長野 - 名古屋
			列車：新幹線のぞみ241号 区間：名古屋 - 新大阪
			列車：特急はるか53号 区間：新大阪 - 日根野

JR 西日本旅客鉄道株式会社

本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。

